



平成30年3月26日

各 位

会 社 名 株式会社ローソン  
代表者名 代表取締役 社長 竹増 貞信  
(コード番号：2651 東証第一部)  
問合せ先 理事執行役員 財務経理本部長 高西 朋貴  
(TEL. 03-5435-2773)

ローソンバンク設立準備株式会社における  
銀行業免許の予備審査申請、及びシンジケートローン契約締結について

株式会社ローソン（本社：東京都品川区、以下「ローソン」）の子会社であるローソンバンク設立準備株式会社（以下「準備会社」）は、銀行法第4条第1項および銀行法施行規則第2条の規定に基づき、金融庁に銀行業免許の予備審査申請を行うと共に、シンジケートローン契約の締結を本日の取締役会にて決議しましたので、以下の通りお知らせいたします。

1. 銀行業免許の予備審査申請について

(1) 申請する会社の概要（予定）

商 号 : ローソンバンク設立準備株式会社  
変更後商号 : 株式会社ローソン銀行 ※  
所在地 : 東京都品川区大崎二丁目1番1号

※ 準備会社が申請し、許認可を前提として株式会社ローソン銀行へ商号変更する予定です。

(2) 背景・目的

ローソンは、「私たちは“みんなと暮らすマチ”を幸せにします。」という企業理念のもと、従来のコンビニエンスストアという小売業態の域を超え、高齢者支援や地域コミュニティの活性化、災害時物資供給などの多彩な機能を社会に展開し、「マチの暮らしにとって、なくてはならない存在」を目指し歩みを進めております。

ローソンは、株式会社ローソン・エイティエム・ネットワークス（以下、「LANs」）による共同ATM事業を通じ、社会に金融サービスの一部を提供して参りました。これらの事業経験や業務基盤を活用し、より利便性の高い金融サービスを展開することで生活支援機能の更なる強化を図るべく、株式会社ローソン銀行（以下、「新銀行」）として銀行業免許の予備審査を申請する事を決定いたしました。

準備会社は LANs における共同 ATM 事業を吸収分割（LANs を分割会社、準備会社を承継会社とする分割）により統合し、ATM をはじめとして更なる利便性の高い金融サービスのご提供を計画しております。

具体的な提供内容については、決定次第改めてお知らせいたします。

（3）業績への影響

銀行業免許の予備審査申請による 2018 年 2 月期のローソン連結業績への影響はありません。

2. シンジケートローン契約締結の件

新銀行における運転資金の調達を目的として、以下のシンジケートローン契約を締結いたします。同契約は、銀行業免許の取得を前提に借入を実行するものです。

アレンジャー	株式会社三菱東京 UFJ 銀行
コ・アレンジャー	株式会社みずほ銀行、株式会社三井住友銀行
借入人	ローソンバンク設立準備株式会社
組成金額	1,300 億円
契約締結日	2018 年 3 月（予定）

以上